

補助事業番号：22-1-100

補助事業名：平成22年度 青少年の情操教育等 補助事業

補助事業者名：公益財団法人 日本交響楽振興財団

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

青少年の豊かな情操と創造力を養うため、すぐれた交響楽を提供し、もって文教、環境、その他の公益の増進に寄与することを目的とする。

(2) 実施内容

① 巡回公演

平成22年度の巡回公演は、青少年を中心に幅広い年齢層を対象として、全国16ヶ所で実施した。大規模編成の楽団の演奏による交響楽、協奏曲を提供した。また、演奏会場における指揮者、ソリストによるミニトークや演奏曲の解説のほか、学生の課外授業の場として、演奏会当日の公開リハーサルの開催、市内の学校を対象に、指揮者や楽団員が楽器クリニック、音楽鑑賞等の音楽教室を適時、実施した。

公演一覧表 ①巡回公演

月日	開催場所	楽団	指揮	独奏（唱）
22.5/29	池田市民文化会館	関西フィルハーモニー交響楽団	藤岡幸夫	-
8/22	砺波市文化会館	東京フィルハーモニー交響楽団	梅田俊明	ピアノ 手嶋麻子
8/25	會津風雅堂	仙台フィルハーモニー交響楽団	本名徹次	ヴァイオリン 南紫音
9/4	入間市市民会館	東京フィルハーモニー交響楽団	広上淳一	ヴァイオリン 奥村愛
9/20	桃源文化会館	東京交響楽団	広上淳一	ヴァイオリン マヤ・フルザー
9/24	神戸新聞松方ホール	オーケストラ・アンサンブル金沢	井上道義	ピアノ 広瀬悦子
9/25	武雄市文化会館	オーケストラ・アンサンブル金沢	井上道義	ピアノ 広瀬悦子
10/10	銚子市青少年文化会館	東京フィルハーモニー交響楽団	和田薫	トランペット 林辰則
10/11	六ヶ所村文化交流プラザ	仙台フィルハーモニー管弦楽団	平井秀明	ピアノ 三浦友理枝
10/11	サンポートホール高松	関西フィルハーモニー管弦楽団	藤岡幸夫	チェロ 宮田大
10/17	舞鶴市総合文化会館	関西フィルハーモニー管弦楽団	藤岡幸夫	チェロ 遠藤真理
11/6	宇都宮市文化会館	東京フィルハーモニー交響楽団	山下一史	フルート さかはし矢波 チェロ 宮田大
12/12	三木市文化会館	大阪フィルハーモニー交響楽団	船橋洋介	ソプラノ 西垣千賀子 アルト 田中友輝子 テノール 西垣俊朗 バス 田中勉
12/12	京都府丹後文化会館	大阪センチュリー交響楽団	小松長生	ソプラノ 雑賀美可

				アルト 福島紀子 テノール 松本晃 バス 片桐直樹
12/24	まほろばホール	東京交響楽団	大友直人	ギター 村治奏一
12/25	オーバード・ホール	東京交響楽団	大友直人	ソプラノ 平井香織 アルト 清水香澄 テノール 児玉和弘 バス 青山貴
	合計 16 公演			

② アマチュア・オーケストラの演奏活動

全国の競輪場の所在する都市を優先して、アマチュア・オーケストラが所在する地域の住民を対象に、平成 22 年度は 5 公演を実施した。演奏会は盛況で、来場者には家族連れが多く見られた。演奏内容は、幅広い年齢層の聴衆が楽しめる曲目を提供し、好評を得た。

公演一覧表 ②アマチュア・オーケストラの演奏活動

月日	開催場所	楽団	指揮	独奏
22.6/27	山梨県立県民文化ホール	山梨交響楽団	前田淳	ツィンバロン 崎村潤子
7/25	愛知県芸術劇場コンサートホール	プラタナ管弦楽団	中村暢宏	ピアノ 三輪 郁
9/5	ザ・シンフォニーホール	大阪市民管弦楽団	牧村邦彦	-
9/25	ティアラこうとう	渋谷交響楽団	新通英洋	ヴァイオリン 深山尚久
10/24	玉村町文化センター	群馬シティフィルハーモニーオーケストラ	櫻屋敷滋人	-
	合計 5 カ所			

(2) 成果

① 巡回公演

有名な大規模編成の楽団による演奏会が、年 1 回程度の開催事情と、名曲を低料金で身近に聴ける利点から、地域の人々の関心度は高い。特に青少年を中心とした若年層、家族同伴の入場者が増加している。巡回公演の趣旨がよく理解され、全国的な交響楽の普及が更に期待できる。演奏会の内容は、指揮者によるわかりやすい曲目、楽器解説のほか、楽団員による独奏、全員合唱も含め、来場者が楽しめるプログラムを提供した。

また、地元学生を対象に、楽団員と指揮者の演奏指導等の音楽教室を開催した。プロの演奏家による指導は、非常に好評であった。特に、生演奏が音楽教育に非常に効果があることから、巡回公演の事業は、地元主催者・自治体・教育関係者から高い評価を受けている。

- ② アマチュア・オーケストラの演奏活動は、地域に密着した市民参加型の公演であり、地元音楽ファンの拡大という面で十分な効果がみられる。アマチュア・オーケストラの財政事情もあり、全国のアマチュア・オーケストラから開催要望が多い。

巡回公演とアマチュア・オーケストラの演奏活動の全国的な展開により、競輪公益資金が社会生活に大きな役割を果たしているとの認識と理解が、地域の人々へ浸透し始めてきている。広報体制は、会場ロビーに競輪のポスターを複数枚掲示、配布物に競輪の表示を印刷、舞台上にロゴマークの表示をしたバナースタンドを設置、また競輪補助事業である文言とロゴマークを明記した小冊子（「みんなで楽しむオーケストラコンサート」）を作成して、来場者に配布した。補助事業による開催という認識にも成果があった。

2. 予想される事業実施効果

交響楽の演奏会に接することの少ない地域の、特に青少年を中心した人々、低料金でオーケストラの生演奏を聴く機会を与える巡回公演は、わが国の文化向上に大きく寄与するものと予想される。

3. 本事業により作成した印刷等

- ①巡回公演 小冊子（「みんなで楽しむオーケストラコンサート」）
- ②アマチュア・オーケストラの演奏活動 チラシ・ポスター・プログラム・チケット

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：公益財団法人 日本交響楽振興財団

（コウエキザイダンハウジン ニホンコウキョウガクシンコウザイダン）

住所：101-0063 東京都千代田区神田淡路町 2-3-2 第二亀田ビル

代表者：会長 原 良也（ハラ ヨシナリ）

担当部署：事務局

担当者名：小林 正人（コバヤシ マサト）

電話番号：03-3253-2032

F a x：03-3253-0566

E-mail：nihon@symphony.or.jp

U R L：<http://www.symphony.or.jp>